

【第 15 回】講義概要紹介 2月3日(火)

■ 講師

【略歴】

昭和 62 年	香川大学卒業
昭和 62 年	日本勧業角丸証券（現みずほ証券） 入社
平成 14 年	株式会社旺建を創業 同社代表取締役役に就任

【講師紹介】

香川大学で経済を学び証券会社に入社しましたが、転勤（高松から大阪）の辞令のタイミングで退職し、建築デザインの資格取得しながら実務を学び独立。五年前から香川ヒノキの研究を始めて眠りのエビデンスがでたタイミングで「hinoki/ kagawa」を眠りの香りとしてブランド展開している。



安守 直敏
(やすもり なおとし)

株式会社旺建
代表取締役

【株式会社旺建について】

平成 14 年に高松市で旺建を創業し、デザイン性とスペックの高い住宅やクリニックなどを設計施工している。

インテリアや家具を販売する COCO SPACE（ココスペース）やデザイン性の高い焼肉屋 AGORA（アゴラ）、ドッグラン併設のカフェ agorette（アゴレット）なども経営している。

5 年前から始めた香川ヒノキの根株の研究は日経新聞全国版などに取り上げられている。
(旺建 日経新聞で検索)

香川県とは香川ヒノキのブランド化の二社協定締結済み、九州大学とは共同研究契約締結し、エビデンスを論文化し学術雑誌にも掲載されている。

■ 講義概要

香川ヒノキの根株の香り（精油）が人の睡眠にもたらす効果について



森林従事者の労働環境は厳しいわりに七割が日雇いである現状。雨の日にはお金を稼げない。ここ 30 年で香川県では現場の作業者は 300 人から 100 人にまで減少している。彼らを月給制とするためには香川ヒノキを建材としてブランド化すること、森林の未利用材を高く買い取り、それを高付加価値商品に変えるの二つの方法しかないと考えた。

雨が日本一少ない香川県のヒノキは香りがいい。その香りの良さをヒト試験にて実証することができて、今、香川ヒノキは全国的にフォーカスされている。なぜ、森林に興味を持ったか？なぜ、森林の現状を知らせないのか？

「hinoki/ kagawa」を展開する目的は日本の森林の価値観に変革を起こすことです。